



## 研究のねらい

農産物を巡る産地間の競争は年々厳しさを増し、それぞれの地域で農業振興を図るには、その立地条件を考え個性的な農産物を導入することが必要である。そこで、「何が消費者に求められるのか」「何をどのように生産して販売したらよいのか」を調査・分析して、生産者と消費者の双方に喜んでもらえるような産地作りを支援するシステムを構築する。

## 研究の成果

このシステムは図1に示すように、栽培マニュアル(左上、ハウレンソウ栽培を例示)、マーケティングマニュアル(左下)、Webマーケティング支援システム(Webサーバー)で構成されている。

栽培マニュアルは、導入する農産物の栽培方法の開発により作成され、Webサーバーに載せることにより、生産情報として消費者に公開することができる。

マーケティングマニュアルは、消費者がその農産物にどのような価格、品質、量目、包装等を期待しているかを、消費者モニター制度により調査する手法を提供する。

Webサーバーのうち、HP自動作成機能は、物産や生産者の紹介、消費者アンケートの自動作成を可能にする。一方、データ解析機能は、アンケート結果の自動集計とともに、最適価格計算システム、コンジョイント分析により、期待される価格や荷姿等の探索ができる。

岩手県Y村のハウレンソウを対象として、このシステムによって策定したマーケティング戦略は、「品質・規格の統一を図り、普通(他県産)のハウレンソウより1束(200g入)30円程度高い価格設定で、地場産・安心をアピールしつつ、中小市場との相対取引やスーパー・生協等への直接販売ルートの開拓をする」となった。

## 成果の利活用

生産者団体や農業指導者が生産物のマーケティング戦略を策定する際にWebマーケティング支援システムとマーケティングマニュアルを活用することができる。

Webマーケティング支援システムは、IDとパスワードを取得すれば県の研究機関関係者を含め農業指導者が使用可能である。

詳細は下記URLを御覧下さい。

(URL <http://www.e-ari.jp/>)

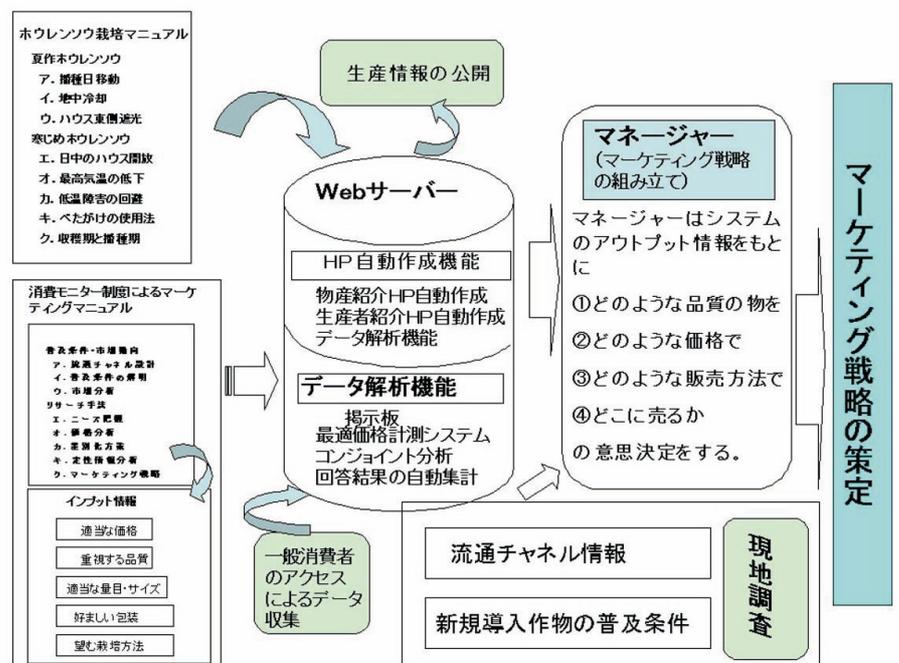


図1 ハウレンソウ生産・マーケティング支援システム